

主要仕様

型番		SG-140	SG-200	SG-250	
本体	寸法 (mm)	長さ	1,220	1,820	2,320
		高さ	46.2(シャッター垂直方向)		
		幅	36.7(シャッター接触側)		
	アウター部	長さ	1,252	1,852	2,352
		高さ	53.0(シャッター垂直方向)		
		幅	42.0(シャッター接触側)		
素材	インナー部	アルミ合金押出形材			
	アウター部	アルミ合金押出形材			
	アンカー部	ABS樹脂			
ノブ	T字ノブボルト				
ホルダー	素材	鋼板			
シール	素材	天然ゴム			
製品 (本体)	収縮・伸長さ (mm)	1,400~2,000	2,000~3,000	2,500~3,200	
	重量 (g)	1,980	2,640	3,456	

●特許第3912794号 ●特許第4092715号 ●国際公開番号WO 2007/138788 ●日本製



カラー

付属品

- シルバー
- ホワイト



シャッターガードホルダー
シャッターを押す力だけでなく外から引張る力にも付属のホルダーで防犯します。



防犯用シール (消耗品)
防犯目的でご使用の場合、アンカーに貼り付けるシールです。設置時にはシャッターが上がりません。

【ご利用に際して】

注意 ご使用の際は、取扱説明書などをよくお読みの上で、正しくご使用ください。

■シャッターガードは、シャッターを防御する目的以外にご使用にならないでください。■シャッターガードを改造しないでください。事故、故障の原因になります。■シャッターガードの上に乗ったり、重負物を載せないでください。変形および故障の原因になります。■操作・収納時において、手・指のはさみ込みにご注意ください。また、ご使用時には、周りの人・物などに本体が衝突しないよう、確かめてからご使用ください。■シャッターガードを移動する際はノブを必ずしめて、インナーが伸びたり外れたりして、落下等しないようにご注意ください。■シャッターガードを収納する際は、本体を収縮し、必ずノブをしめてください。■立てかけ時は、本体転倒による身体、物などへの衝突に十分注意し、インナー本体を収縮してから収納し、容易に転倒しないようにご注意ください。■シャッターガードは強風が通り過ぎ、天候がおちついたら、はずしてください。シャッターの開閉をスムーズにするため、1ヶ月以上設置したまま放置しないでください。

製品に関して新品の状態でご不具合があった場合、大変お手数ですが弊社までご連絡ください。

■製品の色は、印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。■製品の仕様およびデザインは改善のため、予告なしに変更する場合があります。■実際の製品には、使用上のご注意を表示してあるものがあります。

沢田防災技研では、環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます。

製造元



株式会社 沢田防災技研

〒680-0941 鳥取市湖山町北2丁目522-2 セコム山陰ITラボラトリー内
TEL 0857-50-0887 FAX 0857-50-0830 <http://www.sawada-guard.com>

型番	カラー	JANコード	本数
SG-140	ホワイト	4 562206 560048	
	シルバー	4 562206 560055	
SG-200	ホワイト	4 562206 560017	
	シルバー	4 562206 560024	
SG-250	ホワイト	4 562206 560093	
	シルバー	4 562206 560109	

MEMO



シャッターガード販売店

シャッターガード



安心は、この1本から生まれる。



防風

防犯



庫内の財産を守るシャッターガード

台風などの
強風時に

盗難

風災害

倉庫・車庫などの
防犯に

内側から、ガッチリセット

風速 **45m/s**相当に耐える**強度** ※耐風圧:800Paの試験をパス。
(財団法人 日本建築総合試験所)

工具いらずで**簡単設置**

シャッターに**加工不要**

防犯としても**効果大** ※防犯用シール使用

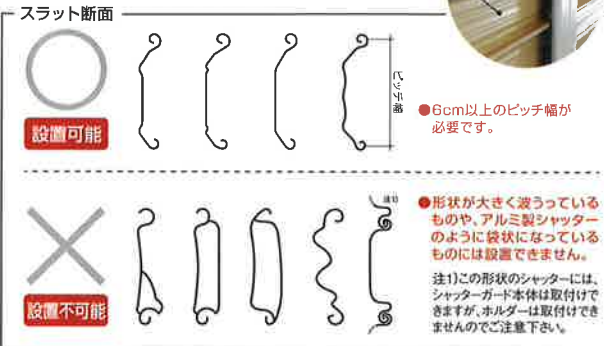
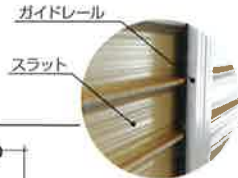
横幅 **1.4~3.2m**の手動式軽量シャッターに

強風や台風によって納屋・車庫・店舗内の大切な財産を破壊されたり、シャッターがこじ開けられて、車庫荒らしにあったという話をよく耳にしませんか？財産だけでなくシャッター本体の修理も、大変大きな出費です。そこで登場したのがシャッターガード。庫内の安全をしっかりと守ります。

シャッターガード導入までの**3**のステップ

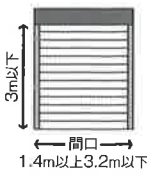
1 STEP ご自宅のシャッターをご確認ください
設置可能なシャッター **手動式軽量シャッター**

2 STEP シャッターの
スラット形状を
ご確認ください



3 STEP シャッターの間口を
ご確認ください

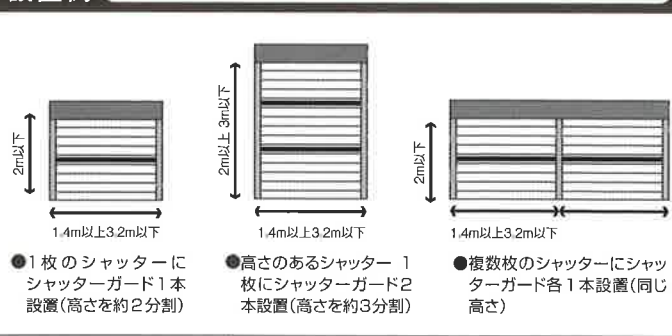
- 間口1.4~2mの場合 → 型番 SG-140
- 間口2~3mの場合 → 型番 SG-200
- 間口2.5~3.2mの場合 → 型番 SG-250



【ご注意】

- シャッターの内側にサッシなどの建具がある場合、設置できません。(シャッターと建具の間隔が10cm以上あれば設置可能です。)
- 窓用シャッター** **電動式シャッター** には設置できません。

設置例



設置方法

※各シャッターメーカーの強化中程に交換することにより、より強い風圧に対応できます。

1 防犯用にご使用の場合、防犯用シールを貼ってください。

2 片方を隙間(スラットとガイドレールの間)に差し込みます。

3 もう片方を伸ばして反対側の隙間に差し込みます。

4 シャッターガードホルダーを2箇所セットします。^{*3}

5 ストップノブを2箇所して固定します。

防犯シール未使用の場合
シャッターはシャッターガード設置位置まで閉鎖可能です。

防犯シールご使用の場合
シャッターは開閉できません。庫内への出入りは他の出入口をご利用ください。

*1 ●設置可能寸法は間口1.4~3.2mで、高さ2mまでのシャッターの場合、シャッターガードを1本設置(床面より100cm程度・全高の約半分の高さ)してください。●高さ2m以上のシャッターの場合は、シャッターの全高を約3分割する程度にシャッターガードを2本設置すると効果的です。●ご使用のシャッターが、複数枚をガイドレールでつなげて設置の場合は、シャッターガードをシャッターの枚数分の本数、同じ高さに設置してください。

*2 ●シャッターガードを防犯用にご使用の場合は、アンカーの汚れを十分に拭き取ってから、付属の「防犯用シール」を両端のアンカーに貼り付けてください。●貼り付ける際は、写真のようにアンカーの背面から貼り始めてください。●隙間(スラットとガイドレールの間)にアンカーを差し込んでガタつきがある場合は、二重に貼り付けてガタつかないように調整してください。●二重に貼り付ける必要がある場合は、1枚ずつ調整しながら貼り進めてください。●*3 ●全体の設置の長さを3等分する間隔で、アウター側の本体にセットします。●シャッターのスラット部の上下にツメを引っ掛けるようにセットします。

風のメカニズムとシャッターガード

